

事業者向け 児童発達支援自己評価表

公表：令和4年12月11日

永山こども発達支援センターぼの

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			建物内外において段差等なく環境に配慮しています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			全職員が参加し、年間、月間、週間、日案に目標設定し、日ごとの支援の振り返りを行っています。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			R4年11月に保護者様に事業所評価をして頂き、内容について真摯に受け止め、改善につなげています。
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎週月曜日に研修の機会を設定しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			アセスメントシートと標準化アセスメントの両面から課題やニーズを分析し、個別支援計画に反映しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			お子さまの特性に合わせて標準化されたアセスメントツールを用いています。
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			各項において具体的に支援内容を設定しています。
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか			○	積み重ねの意も含め、あえて繰り返しのプログラムを組むこともあります。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			午前集団活動+個別活動又は午後の個別活動にて組み合わせ、個別支援計画を作成しています。
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			前日、当日の2回、シートを共有し、支援内容や役割分担を確認しています。
	⑰	支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			客観的に事実を記録し、改善へと繋げています。
	⑲	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			最低6か月以内の見直しを行うことを基本とし、それ以前にも必要性がある場合はモニタリングを行っています。
関係機関や保護	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	—	—	—	
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	—	—	—	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
者との連携関係機関や保護者との連携	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	25	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			教育相談や必要に応じて就学への移行フォローを行っています。
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	28	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			HUGIにてご連絡したり、面談をさせて頂き、保護者様にお伝えさせて頂いております。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか		○		ニーズに応じて家族支援としてペアトレを行っています。
保護者への説明責任等	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時にお伝えしています。
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			コロナ禍に伴い、見合わせています。
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			PCファイルはID・パスワードを入力することで管理しています。またSECURITY ACTION(二つ星)を宣言(情報セキュリティ対策に取り組むことを自己宣言する制度)を実施しております。
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	42	事前に、予防接種やんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			契約時に、予防接種の状況をシートに記入欄を設けており、その他の疾患等についても確認を行っています。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			食物アレルギーに関しては検査結果を頂き、給食提供時に除去食にて対応しています。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年に1回程度、虐待防止に関わる社内研修を行っています。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		必要に応じて対応します。